

かわらばん

ホームページ



令和2年5月

第251号

サイトカインと病気

副院長 田中 敏郎



新型コロナウイルス感染症の重症化において、“サイトカインストーム”や“免疫暴走”などのキーワードがテレビや新聞にて報道されており、皆さんも最近良く耳にされていると思います。ウイルスや細菌に感染した際に、これらの病生物の排除に重要な働きをするのが、免疫機構です。サイトカインは、免疫担当細胞間での情報伝達に関わる液性分子であり、適切なサイトカインの産生は、コロナウイルスや細菌の排除に必須です。

しかし、一方、何らかの原因で過剰に産生される（サイトカインストーム）と、逆に体に危害を加え、呼吸機能の急速な悪化（急性呼吸窮迫症候群）、多臓器不全やショックなど重篤な症状を誘発してしまふことがあります。コロナの重症化のみならず、サイトカインの不適切な産生が様々な病気の発症や進展に関わることが明らかとなっています。関節リウマチでは、腫瘍壊死因子

（tumor necrosis factor ,TNF）やインターロイキン6（IL-6）の関節内での過剰産生が明らかとなり、これらのサイトカインの作用を抑制する生物学的製剤が治療法として承認され、劇的な効果を発揮しています。また、アレルギー疾患では、IL-4やIL-5、IL-13などのサイトカインを阻害する抗体医薬も難治性病態で使用されています。



大阪はびきの医療センターでは、かつて、結核の患者さんで、胸水にIL-6が過剰に産生されていることを明らかにし、IL-6の発見に寄与したことがあります。新型コロナウイルス感染症の重症化においても、IL-6が関与している可能性があり、IL-6阻害療法が新たな治療法となるのか、安全性、有効性を評価する治験が世界で進行中です。



“ECMO（エクモ）”をご存知ですか？

集中治療科 主任部長 柏 庸三

最近、“ECMO（エクモ）”という言葉がテレビなどで目にする機会が増えていま

す。
ECMOとは、extracorporeal membrane oxygenation（体外式膜型人工肺）という医療専門用語の略語であり、人工呼吸器や昇圧剤など従来の治療では救命が困難な重度の呼吸不全や循環不全の患者さんに対し、人工肺とポンプを用いた体外循

（裏面へ続く）



〈表面からの続き〉

環回路を用いて呼吸や循環をサポートする目的で行われる高度医療のことです。

一般的に用いられているECMOは、患者さんの静脈から血液を取り出し、膜型人工肺で血液中の二酸化炭素を除去、酸素化し、再び患者さんの動脈または静脈へ戻すことにより、循環を補助したり、肺の機能を代替したりします。新型コロナウイルス肺炎のような重篤な呼吸不全に対しては、一般的に、呼吸の補助のみを目的として、主として静脈から脱血を行い静脈に送血を行うVV ECMOが用いられます。



ECMOそのものが患者さんの回復を促すものではなく、あくまでも、呼吸不全の原因疾患の治療が奏功し肺の機能が回復するまで、肺を休めることが目的となります。また、血栓症や出血など非常に重篤な合併症の危険を常に伴う治療でもあります。専用の医療機器のみならず、習熟した多数のスタッフが必要です。現在、重症呼吸不全や循環不全を扱う救急医や集中治療医を中心に、スタッフの育成や症例の集約化による治療成績の向上を目指す取り組みが行われています。



「持参薬」の確認、なぜ必要？

薬局長 金銅 葉子

午前中、薬局の前にたくさんの方がおられるのを皆さんご存じだと思います。「何をしているのだろう」と思っておられる方も多いかもしれません。あれは、その日入院される患者さんの「持参薬」を入院前に薬剤師が確認している光景です。



「持参薬」とは、患者さんが入院時にお持ちになった普段お使いになっている薬のことで、のみ薬、インスリンなどの注射薬、塗り薬、貼り薬、目薬などすべての薬が含まれます。「持参薬」確認時には、薬だけでなく、薬の袋、薬の説明書やお薬手帳なども大切な情報となりますのでお持ちください。



持参薬確認のメリット



1. 手術前の薬剤師外来で薬の確認をあらかじめさせていただいた患者さんにも、入院時に薬に変更がないか、医師の指示通りに服用が中止できているかなどの最終確認ができます。
2. 複数の医療機関からもらっている薬を確認することによって、同じ働きの薬がだぶっていたり、のみ合わせのよくない薬を見つけることができます。
3. 薬を忘れることなくのんでおられるかを把握して、その状況を医師に伝えることができます。
4. 薬によるアレルギーや副作用の情報、サプリメントや健康食品の摂取状況などを聞き取り、安全に薬を使うことができるように注意を払いますので、安心していただけます。

このような目的で「持参薬」確認を行っていますので、入院後の治療を安全に受けいただくためにもご協力よろしくお願ひいたします。